



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



猛暑の中ですが 学校生活が始まりました



例年なら、お盆が終わって「夏休みも残り少なくなったなあ」と感じる頃ですが、もう昨日から通常の学校生活が始まっています。短い夏休みでしたが、充実した日々を過ごすことができたでしょうか。新型コロナウイルス感染症は依然猛威を振っていますが、この11日間に本校の子どもたちに関する連絡は入らなかったため、本当にほっとしています。休み中の健康管理、ありがとうございました。

さて、昨日、今日とたいへん暑い日が続いていますが、子どもたちはしっかり学習に取り組んでいるようです。生活リズムが整っていることの証だと言えるでしょう。また、新型コロナウイルス感染症と同様に、この時期気をつけなければならないのが「熱中症」です。以前お伝えした通り、マスクをしていることで気分が悪くなったり、暑さががまんできなくなったりしたら、周りに人がいないことを確かめてマスクを外すよう、ご家庭でもお話しください。

今後も「新しい学校生活様式」が「当たり前」になることを目指していく必要があります。その基準となる国や市の保健マニュアルが今後改定されることも考えられますが、その都度お知らせしていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



昨日、久々の登校でしたが、警察官をはじめ「八幡東区こども交通安全連絡会」の皆様が、交差点で交通指導をしてくださいました。

宿泊行事の実施に向けて いっそうの感染対策を

運動会や学習発表会など、学校行事の多くを中止せざるを得ない中、5、6年生が参加する宿泊行事（修学旅行、自然教室）については、学校の感染状況等に応じて各校で実施の仕方を判断することとなりました。



本校では、当初の予定通りの実施を計画しています。とはいえものの、教育委員会が実施にあたっての基準を設定しているため、いくら実施したくても、以下のような場合は延期・中止の判断をしなければなりません。



【修学旅行延期・中止の判断について】

- 出発日の1週間以内に学校で感染者が判明した場合
- 出発日の2週間以内に学年で感染者が判明した場合 など

つまり、「修学旅行」（9月10～11日予定）の実施については、参加する6年生だけでなく、タイミングによっては全校児童の状況に左右されるということです。また、5年生の「自然教室」（9月15～16日予定）も、同様の基準に合わせるようになります。

もちろん、5、6年生の子どもたちの体調が悪ければ、その子は宿泊行事に参加できません。ですから、いつも以上に健康管理に留意することが必要です。合わせて、それ以外の学年の子どもたちについてもしっかりと感染防止に取り組んでいただきますよう、よろしく願いいたします。

災害等の緊急時に備えて

～ 二十一日（金）に『集団下校訓練』をします ～

今年も全国で、大雨に伴う大規模な災害が発生しました。遅い梅雨明けはしたものの、先日のように突然雷を伴う激しい雨が降ったり、台風が接近したりすることは、今後も十分考えられます。そうした緊急時、状況に応じて集団下校をする場合があります。

そこで、今年も担当教職員が引率して地域別に集団下校をする訓練をします。休校の影響で例年より遅い実施ですが、とても重要な訓練と考えています。下校時刻は通常時（十二時頃）とほぼ変わりません。また、八幡小放課後児童クラブに行く児童は、指導員さんが迎えに来てクラブに「集団下校」します。

